

授業と評価の年間計画

教科	理数	科目	理数数学Ⅱ
使用教科書（発行所）	数学Ⅱ（数研出版）		
履修条件 対象生徒	必修 理数科 1年		
学習目標	式と証明、複素数と方程式について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学を活用して事象を論理的に考察する力を養う。数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を育む。		
学習方法	授業を集中して受けることが大切である。授業を真剣に聞き、理解できない所はすぐ先生に質問して解決しよう。1時間で進む内容は、教科書2～4ページ程度である。予習をし、分からなかった所をチェックしておき、授業で解決する。そして、その日のうちに習った内容を本当に理解できているか復習することが大切である。		
学習計画 と ねらい	3学期 〔数学Ⅱ〕 第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式と不等式の証明 第2章 複素数と方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・整式の乗法・除法および分数式の四則演算について理解し計算できるようにするとともに、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し証明できるようにする。 ・数を複素数まで拡張して2次方程式や高次方程式を解くことができるようにし、事象を数学的に捉え、方程式を問題解決に活用できるようにする。 	
評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしていたりしている。
評価方法	学習への取組状況や定期考査などの結果を総合的に判断して評価する。		
その他			